２０２２年度
第９回 理事会議事録

２０２３年 2月 ２１日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

２０２２年度　第９回理事会議事録

１．日　　時　　２０２３年 2月 21日（火）　１４：００～１６：１０
２．場　　所　　鉄鋼会館　８０２号室
３．構 成 員　　１４名
４．出席構成員　　１４名（別紙 出席者名簿参照）
５．議 事 次 第

(1) 開会の辞
(2) 定足数確認報告（定款第 36 条）
(3) 会長挨拶
(4) 前回理事会議事録の確認
(5) 審議事項
　第 1 号議案　2023 年度 事業計画(案)承認の件
(6) 報告事項
　1) 2023 年度予算編成方針･前提について
　2) 委員会等活動状況報告
　　① 創立 50 周年記念事業準備委員会
　　② （仮称）鉄骨技術者資格ＷＧ・技能者資格ＷＧ
　3) 2023 年度主要会議予定について
　4) その他
　　① 関係団体（CIW 検査業協会）情報
　　② 指定塗料価格について
(7) その他の定例報告事項
　1) 構成員登録状況
　2) 着工面積と推計鉄骨需要量
　3) 2022 年度主要会議日程
　4) 支部報告
(8) 閉会の辞

６．議 事 要 旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「本日も、皆さんのご協力をいただきながら、理事会の議論を進めて行きたいと考えていますので、よろしくお願いします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、第 8 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：2023 年度 事業計画(案)承認の件

2023 年度 事業計画(案)について、議案書（p3-11)にそって、基本方針と会員共益については平井総務部長から、技術開発・普及事業等については、新村技術部長から、内容が説明された。

・事業計画は、1 月に発表している会長の年頭所感を基本として策定している。
・特別委員会の活動等を含め、現在進行中の内容、現時点で決まっている内容を記載している。
・基本方針及び各個別事業については、今後の環境変化、事業の具体化を踏まえ、6 月の総会に向けて、5 月の理事会で最終的にご審議いただく。

本説明に対し、理事の中から、以下の指摘と確認があった。

・基本方針内、市場環境説明の文章について、修正が必要との指摘があった。
・基本方針内、人材関連の文章について、内容・文言の追記等が必要との指摘があった。
・共済事業の「オートリース事業」、技術開発・普及事業の「高規格材鉄骨支援制度」に関して、活動方針に関する確認があった。
・技術開発・普及事業の「技術関連ホームページの充実」の文章について確認があった。

上記指摘を踏まえ、5 月の最終審議に向けて内容は引き続き検討することとし、事業計画案が承認された。
尚、審議事項の議案の内容については、必要に応じ、資料を事前送付することが確認された。

(6) 報告事項

1) 2023年度予算編成方針・前提について

2023年度予算編成方針・前提について、議案書(p13-14)にそって平井総務部長より説明され、確認された。

・事業計画案を本理事会でご承認いただくことを前提とした予算策定方針である。
・2023年度の新型コロナウイルス対応の扱いは5類移行を前提に、事業運営に影響がないものとして予算を策定する。
・各会議の開催についても、コロナ前の体制に戻す前提で計画する。
・会費、構成員等ついては、例年同様の考え方とする。
・従来から継続している事業である技術開発関連、各種懇談会等に加え、2023年度の個別の事業として、50周年記念事業、次世代経営研修事業を織込む。
・教育センター主催の研修については、2022年度と同様の助成を前提とする。
・人件費については、足元の事務局要員状況を勘案し、相応の内容とする。

2) 委員会等活動状況報告

① 創立50周年記念事業準備委員会

「創立50周年記念事業準備委員会」について、議案書（p15)にそって総務部滝本課長より、以下の内容が説明され、確認された。

・1月末にホテル側と打合せを行い、会場確認、祝賀会の開催方式等確認を実施した。
・足元のコロナの状況も踏まえ、祝賀会は立食前提で検討を進め、参加人数の制限撤廃を含め検討する。
・記念事業としての業界PR映像については、10社から申込みがあったが、地域バランスを考慮し、推薦のあった6支部から各1社、計6社を選定した。
・職種に加え、性別、年齢等にも考慮した形で選定を実施している。

② （仮称）鉄骨技術者資格ＷＧ・技能者資格ＷＧ

鉄骨技術者資格ＷＧ・技能者資格ＷＧについて、議案書（p16-17)にそって新村技術部長より説明され、確認された。

3) 2023年度主要会議予定について

2023 年度主要会議予定について、小貫専務より議案書（p18)に沿って説明され、確認された。尚、11月の理事会は移動理事会（場所は熊本）とすることとした。

4）その他

① 関係団体（CIW検査業協会）情報

関係団体（CIW検査業協会）情報については、議案書（p19)にそって、小貫専務より説明され、確認された。

② 指定塗料価格について

指定塗料の価格について、議案書（p20-21)にそって総務部滝本課長より、以下の内容が説明され、確認された。

・大日本塗料より、4月からの塗料価格の値上げ申入れがあり、資料の内容で各県組合経由で構成員各社に展開した。
・「鉄骨ビューティー」を新規指定塗料商品として追加した。

(7) その他の定例報告事項

1）構成員登録状況

2023年2月14日時点の構成員数は、前回報告時(1月12日)より1社増加し、2,189社であること等が、議案書(p23-27)により報告された。

2）着工面積と推計鉄骨需要量

2022年の12月までの鉄骨需要量は、前年比マイナス傾向で推移している。2022年暦年の需要量も443万tとなり、前年比マイナス4%程度となったこと等が、議案書(p28)により報告された。

3）2022年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p29)により確認された。

4）支部報告

〔北海道〕

・冬の時期ではあるが、例年と比べても先が見えない状況になっている。
・特にMグレード以下は苦戦。中小物件は競争が激化しており、価格も下落傾向。オリンピック、新幹線についても厳しい見通しあり、不透明。
・道外の企業が北海道に進出してきており、単価にも影響が出ている。
・6−8月は稼働が上がってくるはずであり、期待している。

〔東北〕

・大型の案件はあるが、中小物件は少ない。
・東北の地方整備局とも色々と情報交換を行っている。

〔関東〕

・工事量、稼働率、見積り状況に大きな変化はなく、落ち着いている。
・相変わらず、ゼネコンの業者選定遅れ、図面の遅れが発生しており、製作工程の後ろずれ等の影響が出ている。電気料金の値上げ分の転嫁が厳しい。

〔北陸〕

・仕事量、稼働率ともに大きな変化はないが、やや山谷が発生している状況。

・先々案件は、概ね見えており、比較的落ち着いた状況。

・電気、副資材等の価格転嫁が大きな課題。

・輸送、働き方等の 2024 年問題の今後の動向が気になる。

〔中部〕

・手持ち工事量、稼働率等、状況に大きな変化はなく、落ち着いている。
・大型案件あり、中小案件枯渇。電気代、ガス代等の値上げの影響が心配。

〔近畿〕

・仕事量は、大きな変化はない。単価も特に変化なし。
・公共の物件は、予算超過で落札できない案件がかなり出ている状況。
・工場購入品が軒並み値上がりで、厳しい状況。
・賃金アップが大きな動きになってはいるが、将来の人員の確保、取引先との関係等も考慮し、検討を続ける必要がある。

〔中国〕

・Hグレードは、首都圏案件を中心にバックオーダーを抱え概ね順調。一方、地元の小規模ファブは、物件が少なく厳しい状況継続。
・公共案件に関してはスライド条項の適切な運用が必要だと認識しており、地方では既に個別に申入れを実施している。一方、省庁等中央の組織に対しては、地方からでは申入れが難しい。是非、全構協で中央組織に対する陳情書等の作成をお願いしたい。
・各素材の値上げに関して、素材メーカーから自治体へしっかり働きかけをする様、全構協にも動いていただきたい。

〔四国〕

・案件はやや乏しい状況、稼働率も若干落ちている。

・副資材等を含め、コストが上昇しているが、転嫁は進んでいない。あらためて原価をきちんと把握することが必要。

〔九州〕

・Hグレードは活況。M以下も徐々に埋まっており、九州は盛り上がっている。
・沖縄は相変わらず良くないが、少しずつ回復していきそう。
・図面の決まりが遅い問題は、ますます悪くなる傾向。
・賃金の対応を含め、今後ますます労務問題が重要になってくる。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以　上

（別　紙）

出 席 者 名 簿

会　　長	永　井　　　毅
副 会 長	大　島　嗣　雄
〃	大　竹　良　明
専務理事	小　貫　　　武
理　　事	佐　藤　正　記
〃	三　浦　隆　宏
〃	秋　山　順　一
〃	寺　田　健　信
〃	柏　原　正　明
〃	出　雲　津　芳
〃	妹　尾　一　人
〃	登　尾　昌　弘
〃	岩　永　洋　尚
理　事(相談役)	米　森　昭　夫
監　　事	村　上　眞　樹
〃	五 月 女　久　和

理事総数　１４名　うち出席者　１４名
監事総数　　２名　うち出席者　　２名